

6. 子育ての手助け

(1) 親からの手助けの期待度

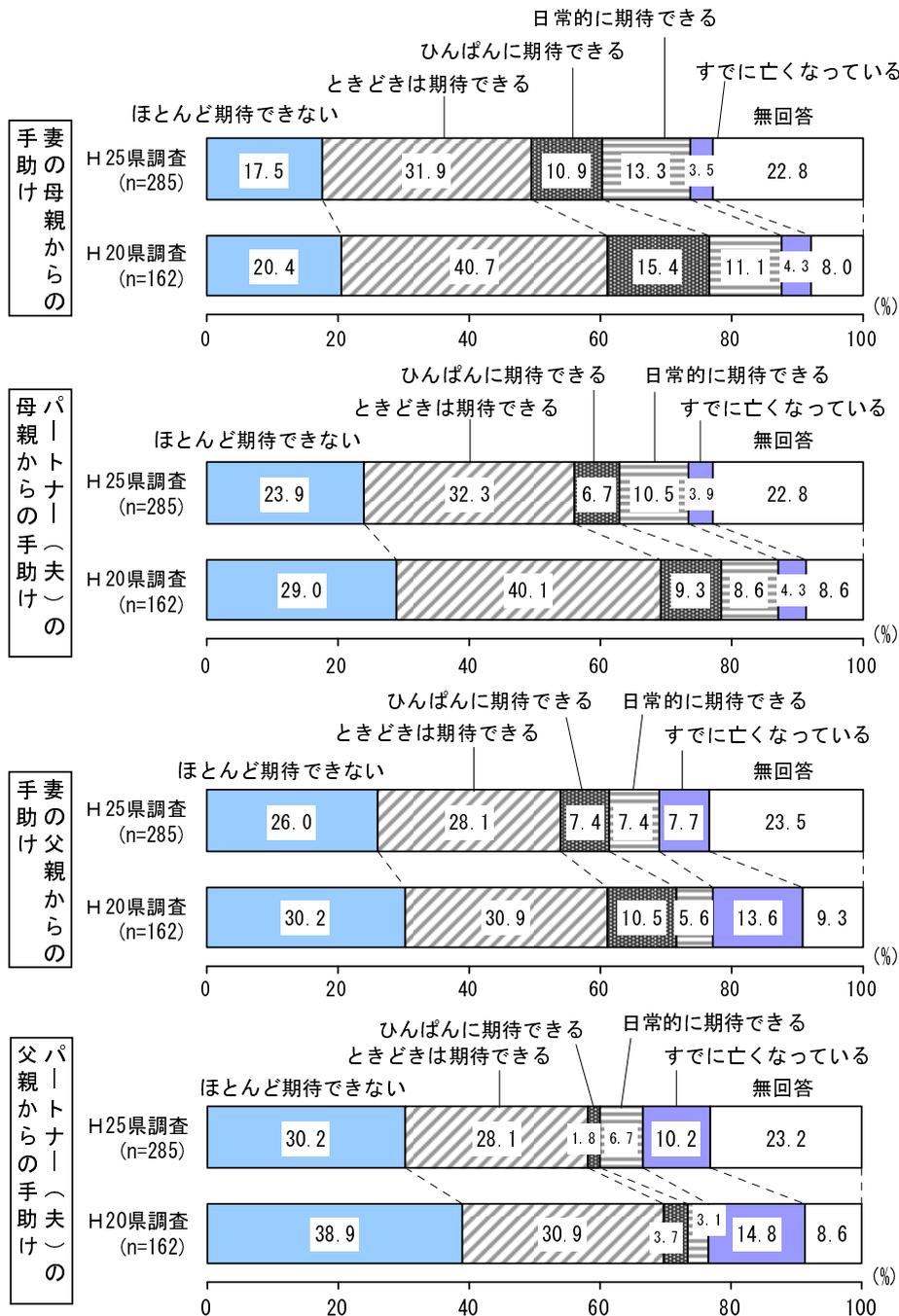
今後出産の予定や希望のある方にうかがいます。

問13 あなた方ご夫婦が今後お子さんを持つとしたら、お子さんが小さい間、ご夫婦のそれぞれのご両親からの子育ての手助けは期待できますか。(それぞれ〇は1つ)

今後出産の予定や希望のある人に、親からの子育て援助の期待をたずねた。

「ひんぱんに期待できる」と「日常的に期待できる」を合わせた期待できる割合をみると、妻の母親からの手助けが24.2%で最も高く、次いでパートナー（夫）の母親からの手助けが17.2%、妻の父親からの手助けが14.8%となっている。

【図表1-6-1 親からの子育てへの手助けの期待度】



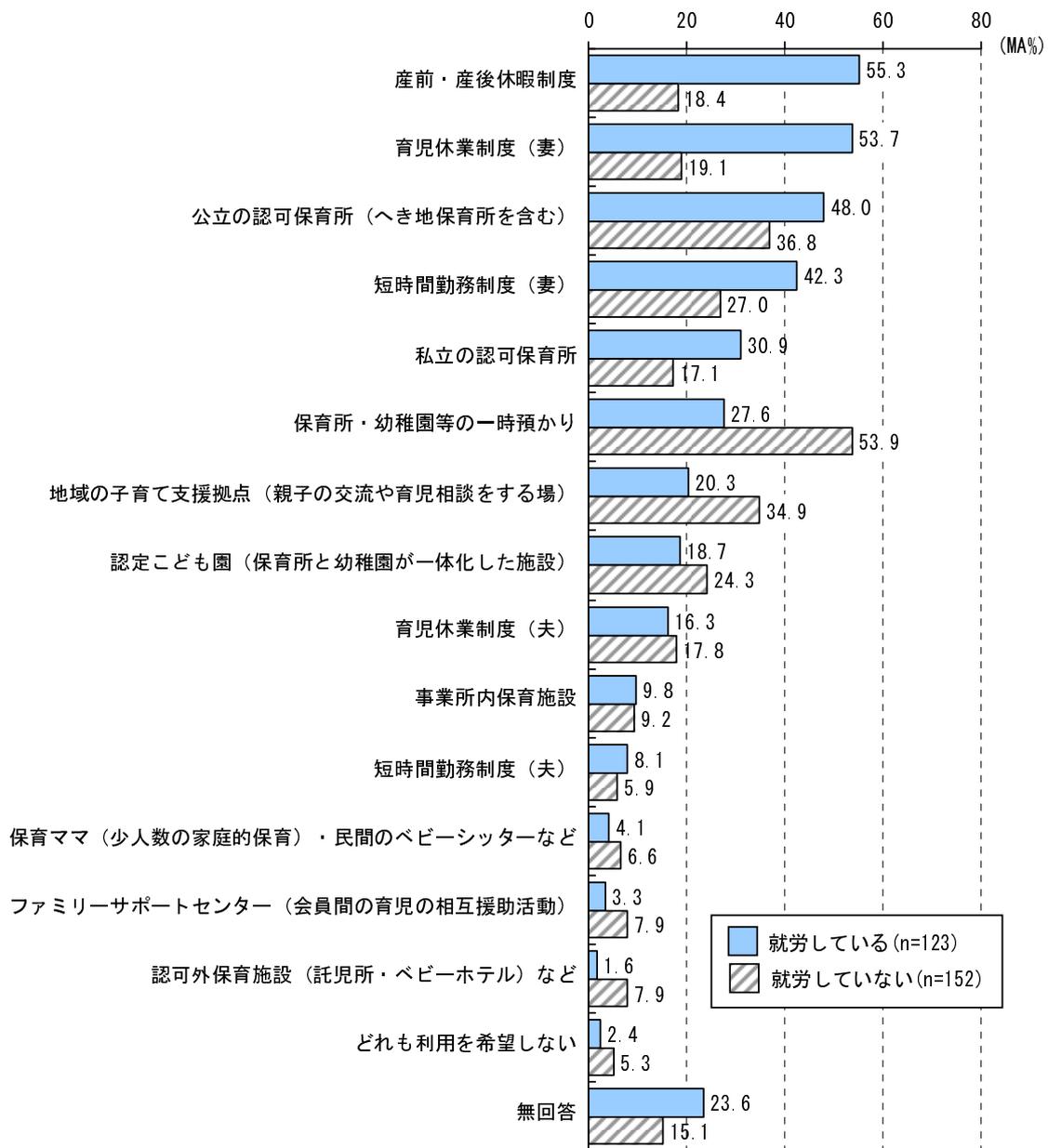
※いずれも今後出産を予定・希望している初婚どうしの妻

(2) 今後利用したい制度や施設

問13-1 今後、(次の) お子さんをもつとしたら、子育てに関する各制度や施設を利用したいですか。(〇はあてはまるものすべて)

今後出産の予定や希望のある人に、今後利用したい制度や施設をたずねると、就労者では、「産前・産後休暇制度」が55.3%で最も多く、次いで「育児休業制度(妻)」が53.7%となっている。以下、「公立の認可保育所(へき地保育所を含む)」(48.0%)、「短時間勤務制度(妻)」(42.3%)、「私立の認可保育所」(30.9%)で、いずれも未就労者に比べ就労者の割合のほうが高い。一方、「保育所・幼稚園等の一時預かり」や「地域の子育て支援拠点(親子の交流や育児相談をする場)」は、就労者に比べ未就労者の希望割合が高くなっている。

【図表1-6-2 妻の就労の有無別 今後利用したい制度や施設】(複数回答)



※今後出産を予定・希望している初婚どうしの妻

(3) 親からの手助けの状況

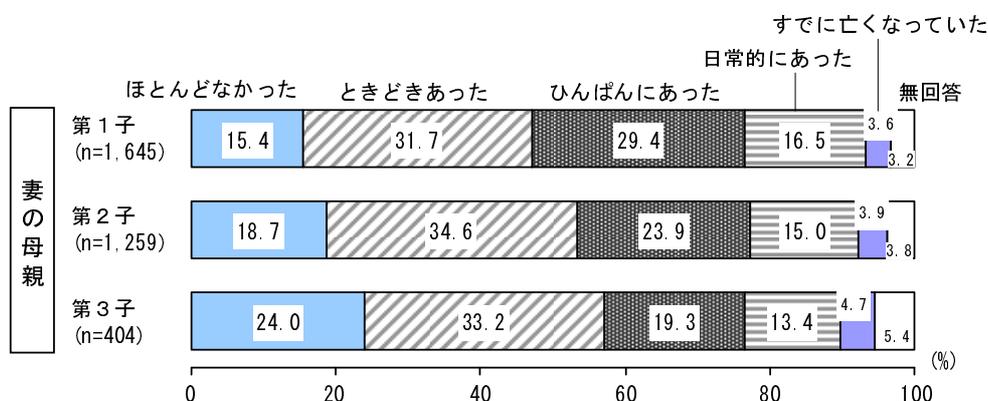
お子さんをお持ちの方に向かっていきます。

問14 あなた方ご夫婦のお子さんが3歳になるまでの間、ご夫婦のそれぞれの両親からの子育ての手助けはありましたか。第1子、第2子、第3子について、それぞれあてはまる番号に○をつけてください。(お子さんが4人以上いらっしゃる方は、3人目までの記入で結構です。)

①妻もしくはパートナー（夫）の母親（父親）からの手助けの状況

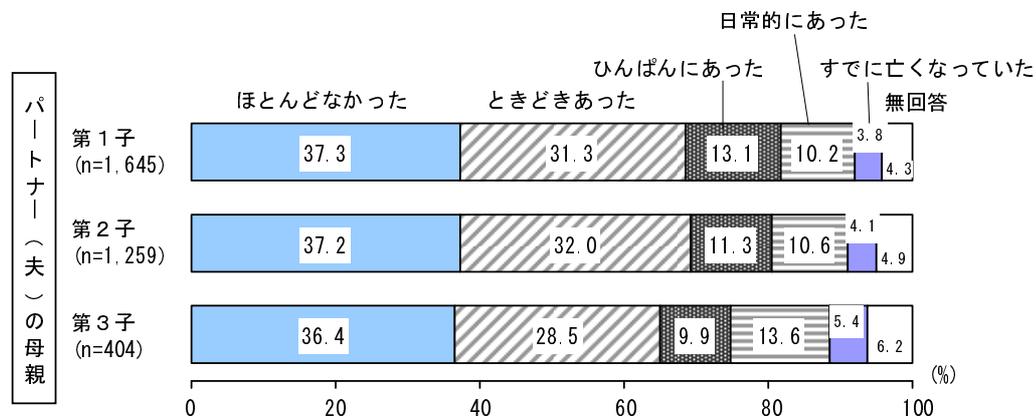
妻の母親からの手助けについては、第1子から第3子いずれも「ときどきあった」が最も多い。「ひんぱんにあった」「日常的にあった」の割合は、第1子から第3子へと子どもが増えるとともに低くなり、「ほとんどなかった」が上昇している。

【図表1-6-3① 親からの手助けの状況<妻の母親>】



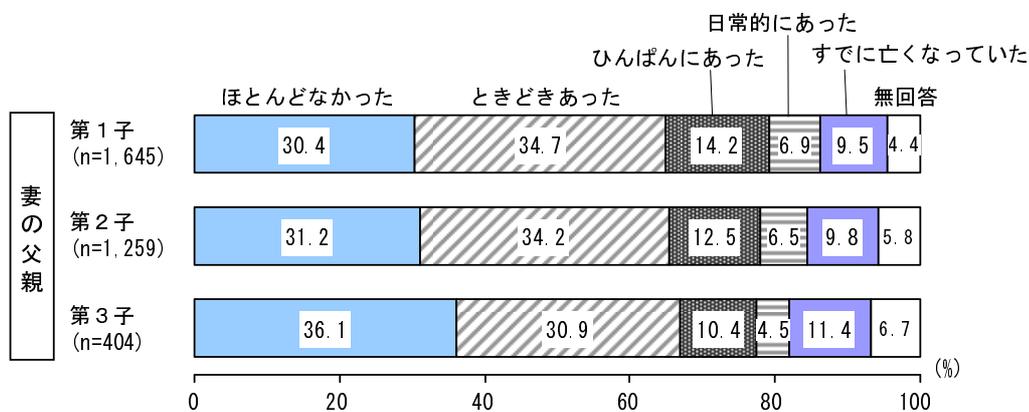
パートナー（夫）の母親からの手助けについては、第1子から第3子いずれも「ほとんどなかった」の割合が高く、あったとしても「ときどきあった」が3割程度となっている。

【図表1-6-3② 親からの手助けの状況<パートナー（夫）の母親>】



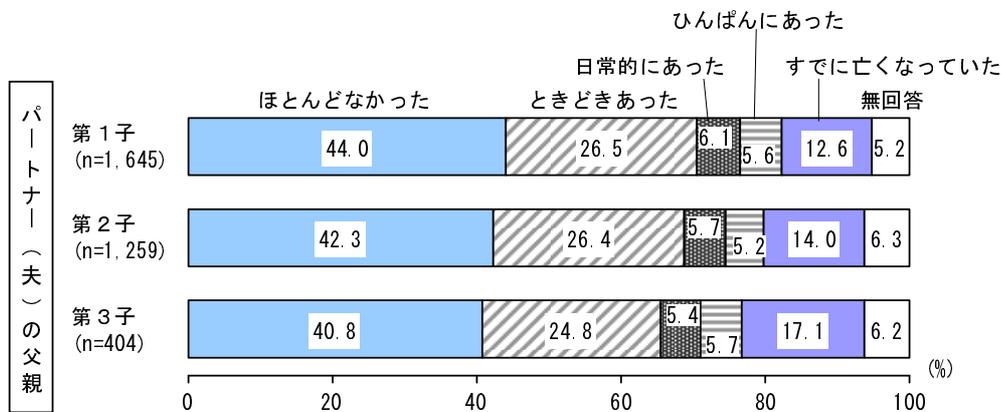
妻の父親からの手助けについては、第1子、第2子は「ときどきあった」が各々34%台で最も高くなっているが、第3子になると、「ほとんどなかった」のほうに36.1%で最も高くなっている。「ひんぱんにあった」と「日常的にあった」の割合は、子どもが増えるとともに低下している。

【図表1-6-3③ 親からの手助けの状況<妻の父親>】



パートナー（夫）の父親からの手助けについては、いずれの子どもも「ほとんどなかった」が4割台で最も多くなっている。

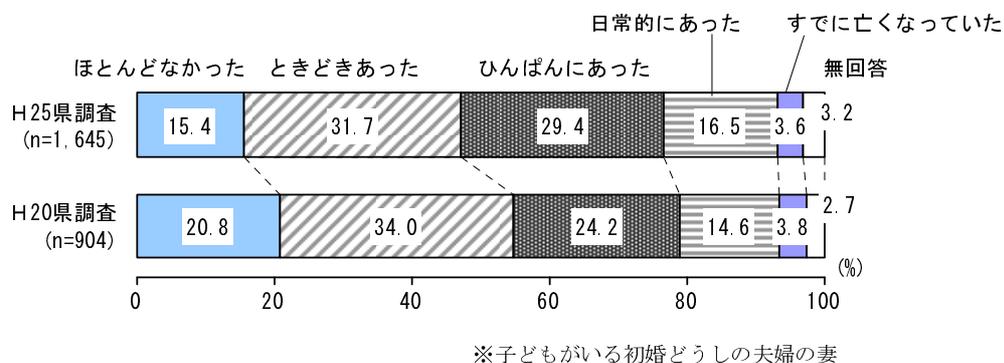
【図表1-6-3④ 親からの手助けの状況<パートナー（夫）の父親>】



②母親からの手助けの状況の変化

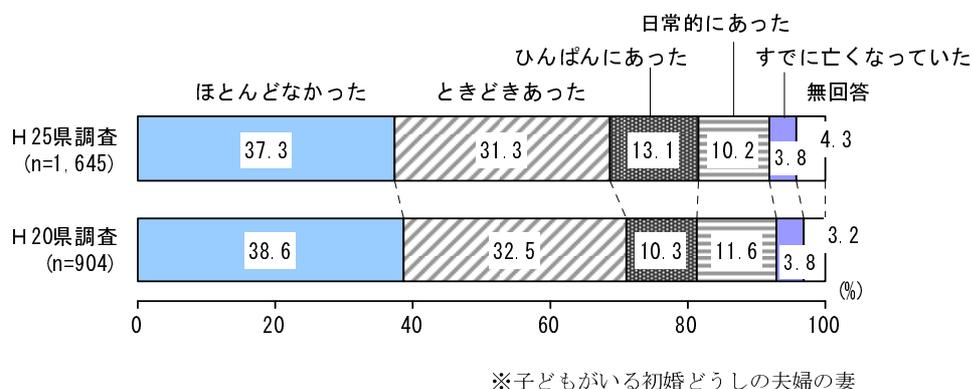
子どもが3歳になるまでの間、妻の母親からの手助けが「日常的にあった」の割合が16.5%、「ひんぱんにあった」の割合が29.4%で、前回調査に比べ、手助けがあった割合（「日常的にあった」と「ひんぱんにあった」の合計）は45.9%と上昇する一方、「ほとんどなかった」及び「ときどきあった」の割合は低下している。

【図表1-6-3⑤ 妻の母親からの手助け】



パートナー（夫）の母親からの手助けが「日常的にあった」が10.2%、「ひんぱんにあった」が13.1%で、手助けがあった割合は23.3%となっており、前回調査に比べ、上昇している。

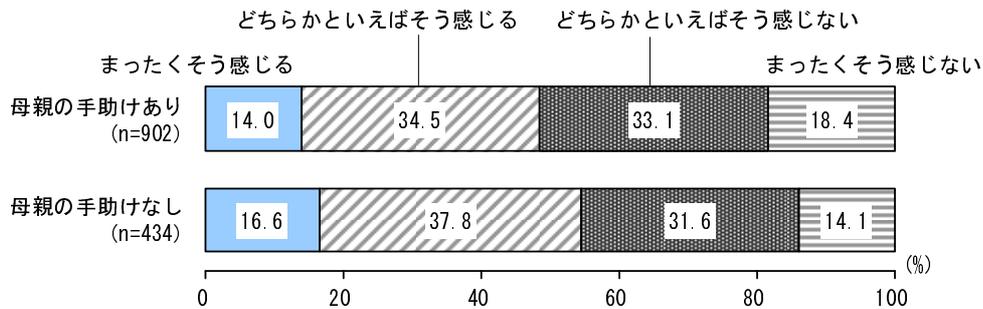
【図表1-6-3⑥ パートナー（夫）の母親からの手助け】



③母親からの手助けの有無別 子育ての心理的・精神的な不安・負担感

妻もしくはパートナー（夫）の母親からの手助けがある妻は、そうでない妻に比べ、子育ての心理的・精神的な不安・負担を感じている割合（「まったく感じる」と「どちらかといえばそう感じる」の割合の合計）は低い。（母親の手助けあり：48.5%、母親の手助けなし：54.4%）

【図表1-6-3⑦ 母親からの手助けの有無別 心理的・精神的な不安・負担感】



※子どもがいる夫婦の妻

※「母親の手助けあり」は、第1子が3歳になるまでの間、夫婦それぞれの母親からの子育てに対する手助けが「日常的にあった」「ひんぱんにあった」のいずれかを回答した者。「母親の手助けなし」は「ほとんどなかった」「すでに亡くなっていた」のいずれかを回答した者

（4）子どもが3歳になるまでの間の制度や施設の利用状況

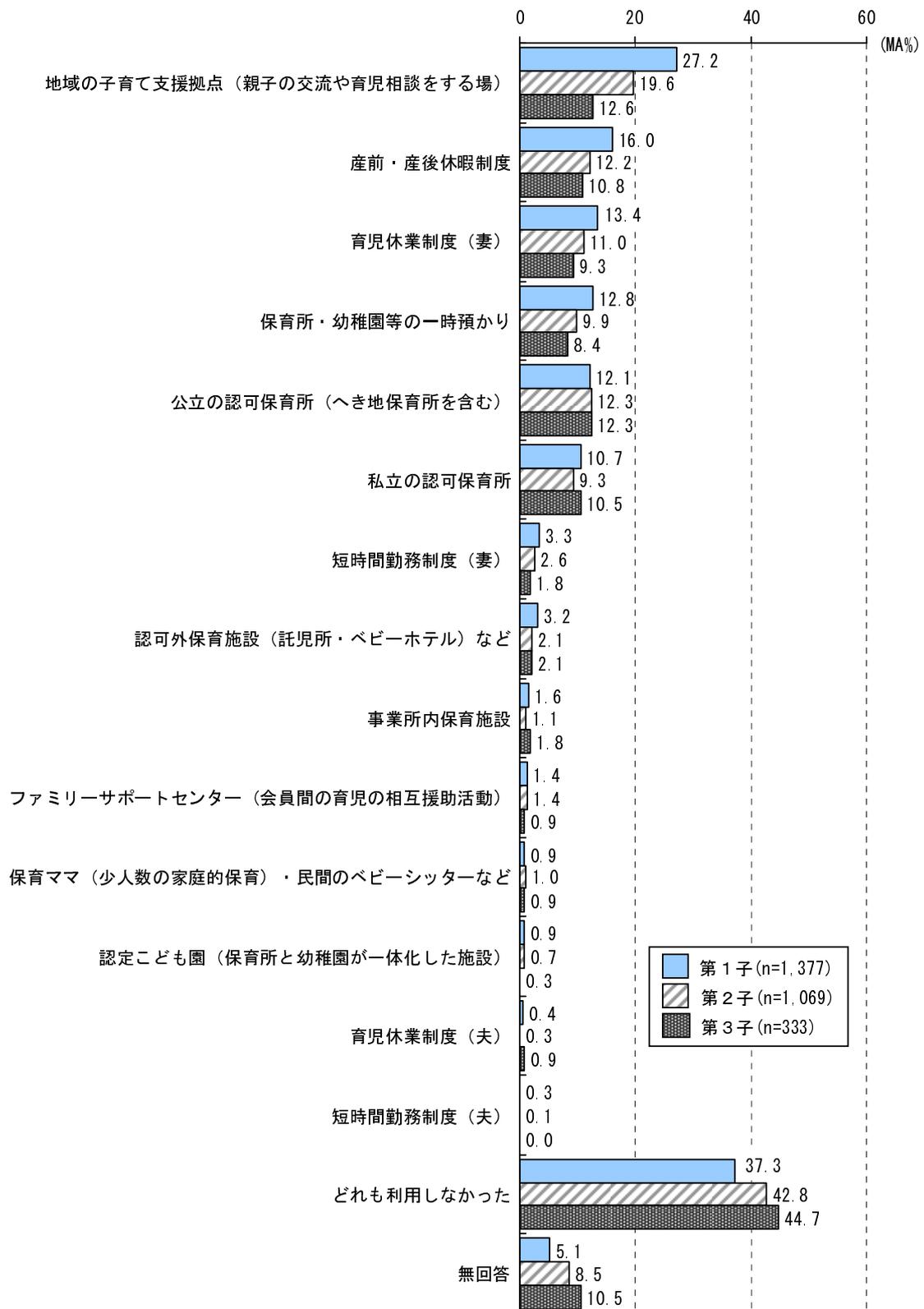
問14-1 あなた方ご夫婦のお子さんが3歳になるまでの間、子育てに関する各制度や施設を利用しましたか。（○はあてはまるものすべて）

①子どもが3歳になるまでの間利用した制度や施設

制度・施設の利用状況について、いずれの子どもも「地域の子育て支援拠点（親子の交流や育児相談をする場）」が最も多くなっている。

「どれも利用しなかった」はいずれの子どもも4割前後を占めており、下の子になるほど割合が高くなっている。

【図表1-6-4① 子どもが3歳になるまでの間利用した制度や施設】（複数回答）

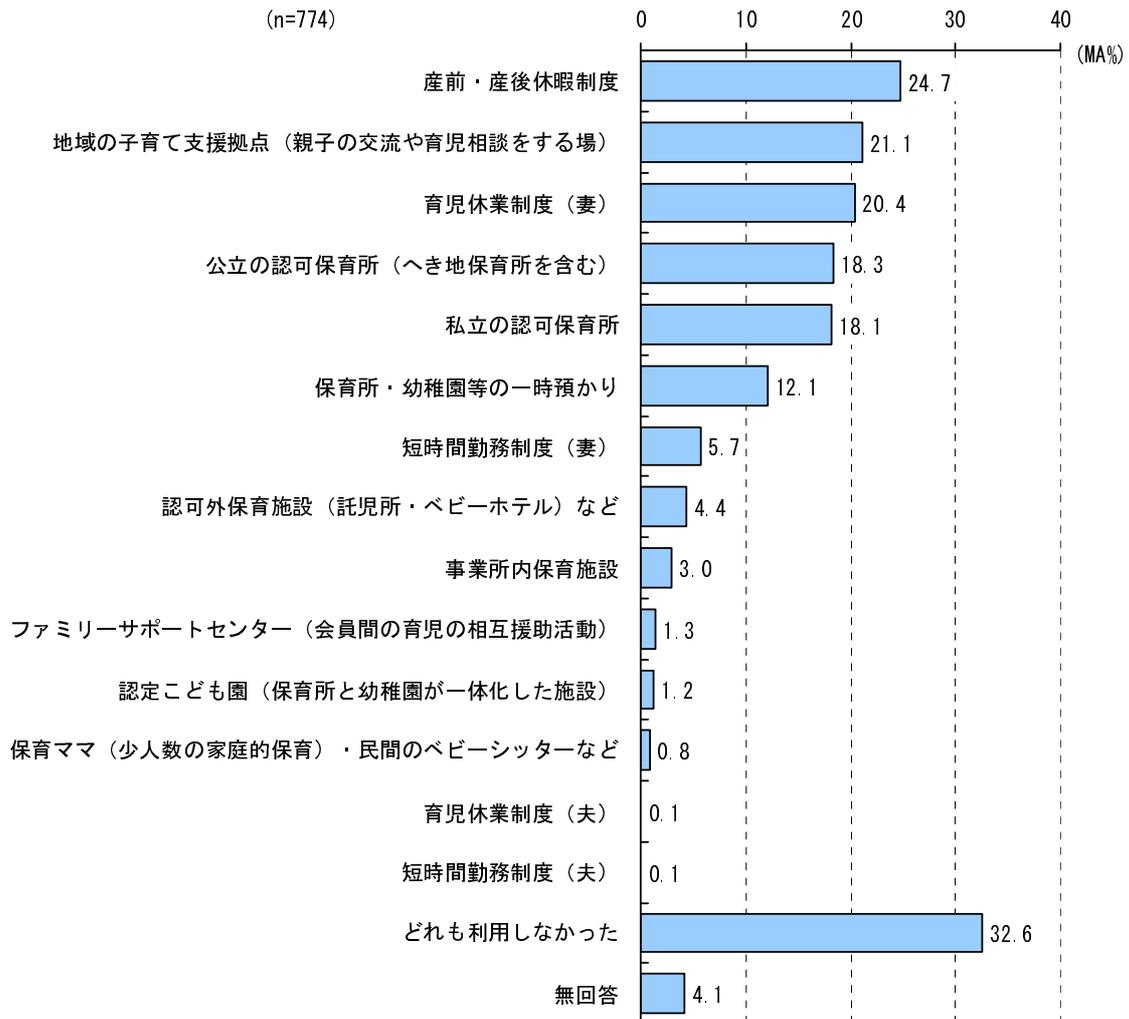


※子どもがいる初婚どうしの夫婦の妻

②第1子が3歳になるまでの間、現在就労中の母親が利用した制度や施設

現在就労中の母親の第1子が3歳になるまでの間に利用した制度・施設は、「産前・産後休暇制度」が24.7%で最も多い。これに次いで、「地域の子育て支援拠点（親子の交流や育児相談をする場）」（21.1%）であり、以下、「育児休業制度（妻）」（20.4%）、「公立の認可保育所（へき地保育所を含む）」（18.3%）、「私立の認可保育所」（18.1%）となっている。

【図表1-6-4② 第1子が3歳になるまでの間、現在就労中の母親が利用した制度や施設】（複数回答）



③第1子が3歳になるまでの間、過去就労経験のある母親が利用したことがある制度や施設

過去就労経験がある母親の第1子が3歳になるまでの間に利用した制度・施設は、「地域の子育て支援拠点（親子の交流や育児相談をする場）」が42.1%で最も多く、これに次いで「保育所・幼稚園等の一時預かり」（15.8%）で、以下、「産前・産後休暇制度」（5.7%）、「私立の認可保育所」（5.2%）、「育児休業制度（妻）」（4.9%）となっている。

【図表1-6-4③ 第1子が3歳になるまでの間、過去就労した経験のある母親が利用した制度や施設】（複数回答）

